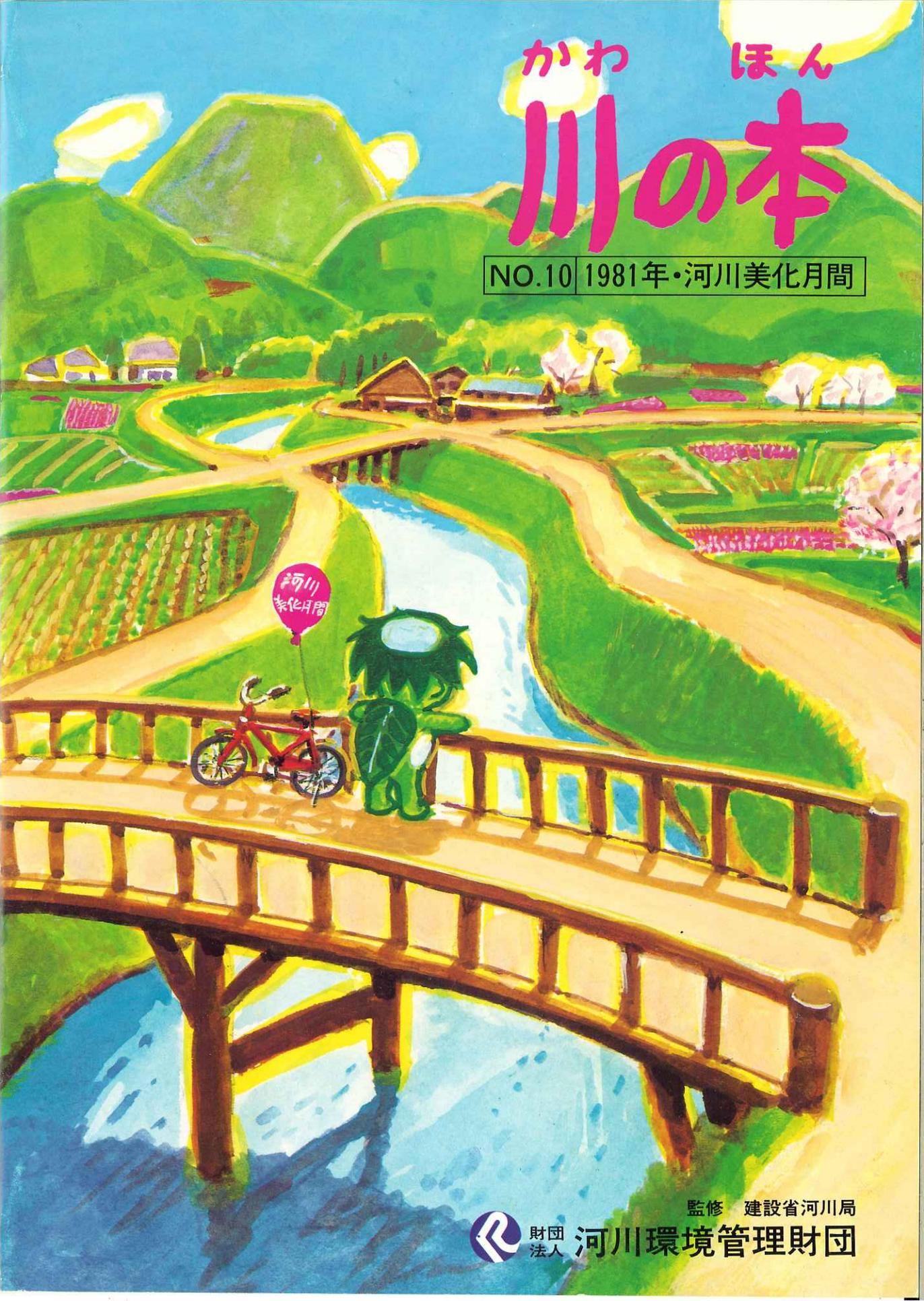


かわ ほん  
川の本

NO.10 1981年・河川美化月間



財団  
法人

監修 建設省河川局  
河川環境管理財団

# 春の土手

春の土手には  
つくしんぼうが芽を出し  
すみれやれんげの花が  
あちこちに咲いて  
とってものどかです。

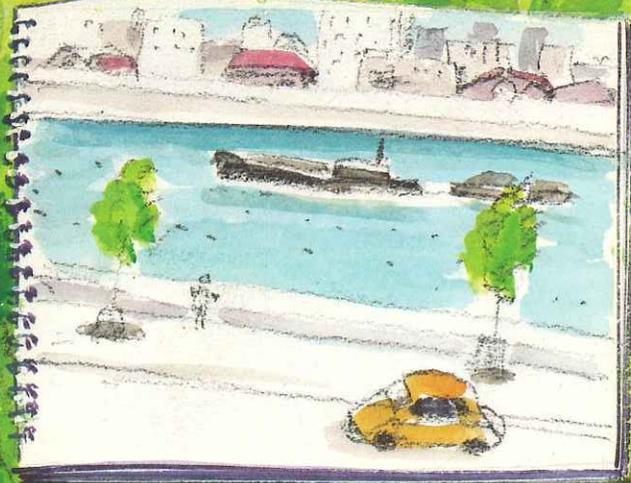
——春風をいっぱいを受けて  
元気にジョギングをしている人。  
——ひばりの声を伴奏に  
サイクリングに息をはずませている人。  
——陽なたぼっこを楽しみながら  
四ツ葉のクローバーをさがしている人。

春の土手には  
陽気な笑い声がひびき  
健康な汗がきらめいています。



毎年4月は、川をきれいにする  
(北海道は5月)  
「河川美化月間」です。

ていぼう かわら  
堤防や河原に  
紙くずやあきカンなどを  
すてないように!



### 川と堤防

川の守りの第一は、なんといっても堤防です。大雨が降るとたちまち洪水をひきおこす急流をかかえたわが国では、氾濫を防ぐうえて堤防がはたす役割は、ことのほか大きなものがあります。

※.....※.....※  
堤防は、それぞれの川ごとに、予測される洪水量や流域の状況、人口、資産、そのほかさまざまな事柄を十分考えあわせた総合的な計画にもとづいて築造され、また改修がおこなわれます。

ですから、川の上流・中流・下流・河口などの別、あるいは田園地帯と都市部のちがいなどにより、堤防をめぐる川の風景スケッチもまた、さまざまです。

# 川と堤防の切り口を調べてみよう

広い河川敷は、治水のさまたげにならないようにしながら整備をすすめれば、体をきたえたり、自然の観察をしたり、散歩や水あそびの場所などとして活用できる  
またとない貴重なオープンスペースです。



この絵は、川の中流から下流へかけての、標準的な川の断面を示したものです。

上流

下流の方に向かって左右岸をきめるのだ

左岸



## 堤防には、どうして樹木を植えてはいけないんだろう？

堤防に大きな木が植わっていたら、夏は日かげができるし、また景色もよくなり、桜の並木があればお花見にも行けるのに……、と思ったことはありませんか？

でも、堤防には木を植えることができません。なぜだろう。

- 〈理由〉
- ①成長した木の根っこが、せつかく築いた堤防をこわしてしまったり…
  - ②大風や、はげしい水の勢いに、木が根こそぎゆさぶられて、堤防をくずしてしまったり…
  - ③危ない流木となって橋や堤防をこわすことがある……

堤外地

大災害の時は避難広場に

へえー  
こちらが堤の外側にあたるのですか

## 昔の人の知恵



〔輪中堤〕

わじゅうてい  
洪水から家や田畑を守るために、堤防で周囲をぐるっとかこんだんだ。ひとつの輪の中に、ひとつの村、ひとつの集落全体がすっぽりはいつてしまうぐらい大きなかこいを作ったんだヨ。木曾川の下流域は、この輪中地帯として特に知られている。

いぬばしり  
犬走り

堤防のいちばん下のところに作られた小段のことを、こう呼ぶんだヨ。もちろん専門用語だ、おもしろい呼び名だね。

かすみでい  
〔霞堤〕

図のように堤防をわざと不連続にしておき、大水が出た時には洪水の一部を堤内側に入れて、下流への洪水の勢いを弱める治水方式。富士川の上流、釜無川の「信玄堤」が有名。

付けてくれえ…  
走りなんて名をつけたのは誰だア

# 川辺に住む野鳥たち

■川のほとりは、野鳥の宝庫です。四季を通じて、さまざまな野鳥の姿を観察することができます。

■ここにあげたのは、日本の川辺でよく見かける最も一般的な鳥たちです。

このほかに、川や湖には北から南から、季節によって数多くの渡り鳥がやってきます。また北海道と南の九州や沖縄では、鳥の種類や生息の時期に大きなちがいがあるのももちろんです。

■全国各地で“野鳥を見る会”などの催しも盛んですから、それらに参加して鳥の生態をくわしく観察するのも楽しいものです。また、野鳥たちが安心して住めるよう、川の自然を守っていくことも大切です。



## 〔おしどり〕

カモの仲間ですが渡りをせず、夏も日本にとどまる。オスは羽毛が美しい。全長50cm。



## 〔きせきれい〕

その名の通り胸から腹部が黄色で、長い尾を上下によくふる。全長17cm。(同じ仲間に「せぐろせきれい」全長21cmがいる。)

## かわ川豆事典

### 「スーパー堤防」

都市部の堤防を、こんなふうには作りかえてみたらどうだろう……という、規模も構想もデッカい、夢のような堤防。

これだけの“巨大”堤なら、堤防の安全性が確かなことはもちろん、そのうえ河川環境の整備と、都市再開発による住環境の改善まで、いっしょに成しとげてしまおうという、その名にふさわしい正に“スーパー”な堤防。

スーパー堤防

従来の堤防

### 〔かいつぶり〕

池や沼などに多く、人が近づいたり危険な時には、くちばしの鼻孔のところだけ出して体を水中にかくす。全長25cm。



### 〔せっか〕

湿地の葦原などに住み、スズメをひとまわり小さくしたぐらいの大きさ。全長13cm。



### 〔かわがらす〕

山間の溪流に住み、水面近くを飛びながら、時々水中にとび込んでエサをとる。全長20cm、尾が短い。

### 〔かわせみ〕

川辺に住む代表的な留鳥のひとつ。全長15cm。



## 河川環境管理財団のしごと

私たちは、次のようなしごとを通して、みなさんに愛される川づくりのお手伝いをしています。

- ①よりよい河川環境を生み出すための計画づくり
- ②みんなで安全に遊べる楽しい川づくり
- ③川の美化をすすめ、また河川愛護の知識をひろめる
- ④河川環境のこれからを考えるための調査や研究

川をきれいに・川を大切に

どこかで春が生まれてる  
どこかで水が流れだす  
どこかでひばりが鳴いている  
どこかで芽の出る音がする



財団法人 河川環境管理財団

(〒160)東京都新宿区新宿5丁目17番5号 第5荒井ビル  
TEL(03)200-5677(代表)